



3号

2021.10

さがりハ通信



新しく導入した嚥下（飲み込み）の検査の紹介

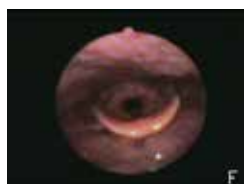
こんにちは！ 内科の山口です。
今回は当院での新しい取り組みに関して紹介します。

摂食・嚥下リハビリテーションの評価に関して嚥下内視鏡検査（VE）を導入しました！ 今まででは言語聴覚士（ST）による評価のみを行っておりました。これからも主たる評価に関しては同様ですが、STによる評価だけでは判断が困難な事例などに対し医師による嚥下内視鏡検査が実施できます。現状、マンパワーなどの関係で入院患者様限定での実施となります。

さて、新しい検査を導入したことはご理解いただけたかと思いますので嚥下内視鏡について説明したいと思います。

みなさまは胃カメラ（上部消化管内視鏡）や大腸カメラ（下部消化管内視鏡）についてはよくご存じかと思います。これらは「胃」や「大腸」といった「臓器」の観察を行うためのものですが、嚥下内視鏡は「嚥下（飲み込み）」という「機能」を観察するものです。

しかし、内視鏡そのものにスゴイ機能があるわけではありません。むしろ機能を削ることで内視鏡の径を細くし違和感が少なく検査ができるようになっています。



ざっくりとした手順としては、患者さんの体を起こした状態で鼻から内視鏡を挿入します。その状態で気管と食道の分かれ道を観察します。そのまま、水を飲む、あるいは検査食を食べていただきます。以上が検査の流れとなります。

飲み込みの検査で大事なのは誤って食べ物が気管に入ることによる窒息や誤嚥性肺炎などを防ぐことや、どのようにすれば安全に食べられるかを考えることです。この検査では誤嚥が発生するリスクを評価することや姿勢による飲み込みの評価が可能です。誤嚥の瞬間そのものに関しては内視鏡を使用しても見ることは困難なのですが、飲み込む前と後の状況の評価することで危険性を見積もることができます。

当院では、これまで以上に安全で良質な医療を提供できるように日々努力しております。これからもよろしくお願いします。

さがみリハビリテーション病院
内科 医師 山口 勇人



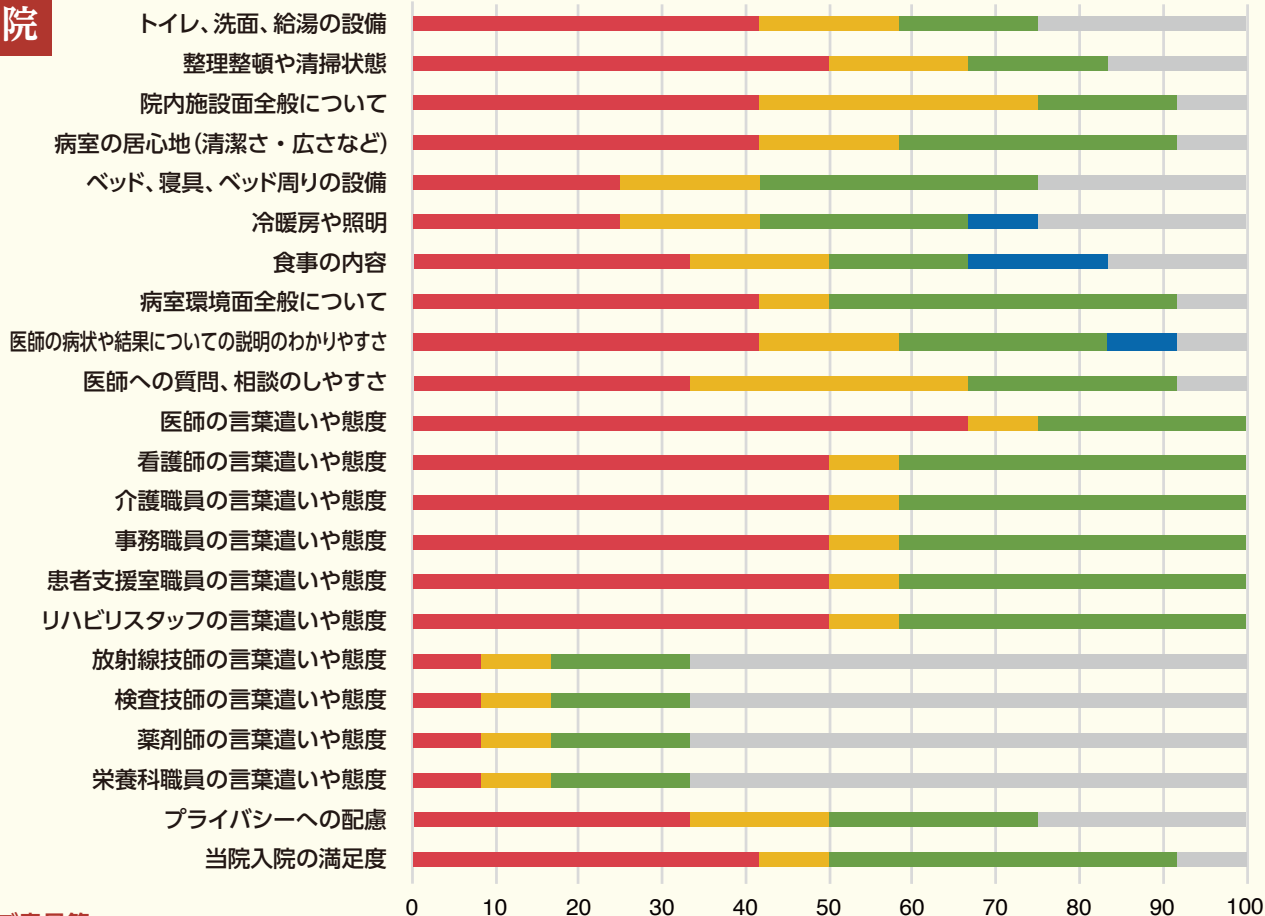
患者様満足度調査

本年のアンケート結果を報告させていただきます。職員一同、より良い病院づくりに努めてまいります。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

■ 満足 ■ ほぼ満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない・該当しない

(令和3年3月 実施)

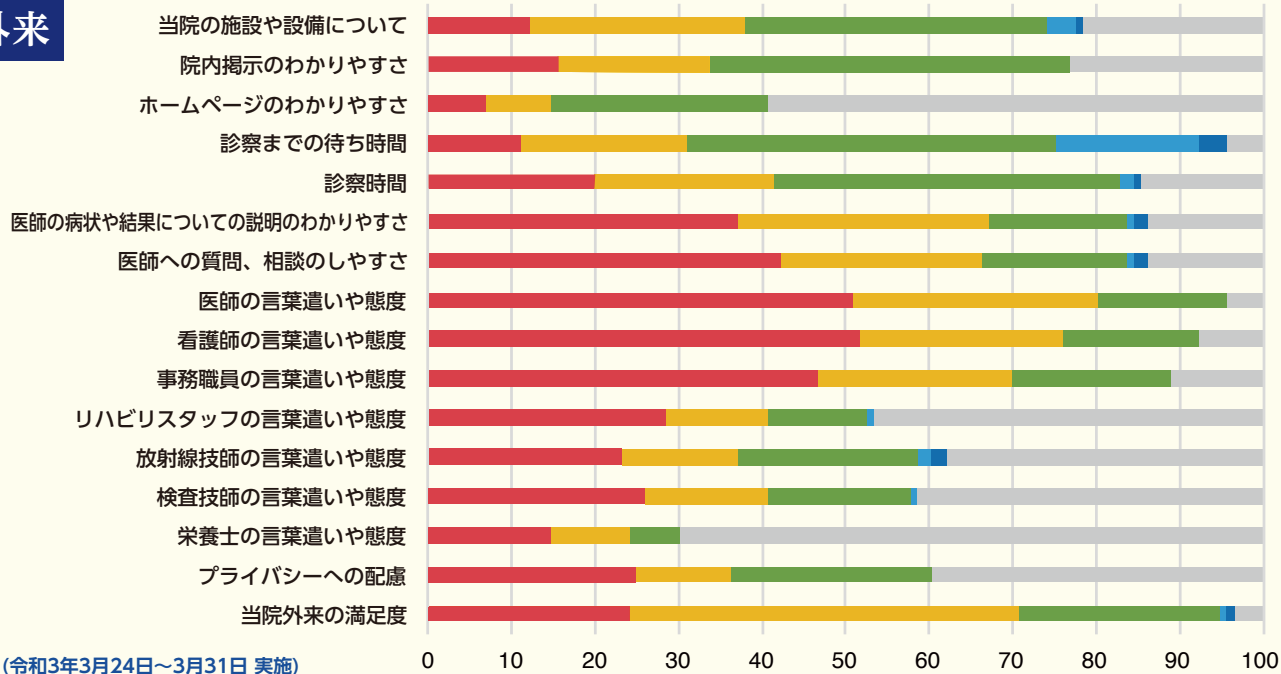
入院



ご意見等

医療を受けるために入院しているとはよく承知しているのですが病状は一進一退です。看護師さんから「笑顔があった」「○○と言ったら笑った」「ひっかかれた」などと生活の面の様子を聞くと家族も元気になります。ほんの少しの表情や仕草などを見つけてお知らせ頂けると嬉しいです。(特にコロナで見舞えない日々が続いているので) いつも心のこもった対応をして頂いて看護師さんはじめ皆様に感謝しております。

外来



(令和3年3月24日～3月31日 実施)



さがみリハビリテーション病院 訪問リハビリテーション 作業療法士 竹内 渉

「訪問リハビリテーション(以下、訪問リハ)」という言葉を知ったことはありますか？訪問リハとは病院や介護老人保健施設等から理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が利用者様のご自宅に訪問し、リハビリテーション(以下、リハビリ)を実施するサービスとなります。訪問リハでは病気やケガ、老化によって低下した心身機能の維持・向上を目的とした訓練だけでなく、着替え・入浴・料理・掃除等の日常生活動作の自立や住み慣れた地域でその人らしく生活するための支援を行っていきます。直接ご自宅に訪問するため、実際の生活環境に沿った訓練や住環境整備に関する助言を行うことができる点や、介護の方法についてご家族や訪問の介護士等と連携を図りやすいといった特徴があります。



訪問リハは医師が必要と判断した方に対して、医師の指示の下実施します。要介護認定を受けている方は介護保険を使うことができます。ケアマネジャーが作成したケアプランに沿ってリハビリの目標と計画を定め、他のサービス事業所と協働して実施します(要支援1～2の認定を受けている方も要介護認定を受けている方と同様のサービスを利用す

ることが可能です)。また、ご存じない方も多いのですが、医療保険を使ってサービスを受けることも可能です。



ただし、要介護認定を受けている場合は原則介護保険を使うことになります。

当院の訪問リハ事業所は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のリハビリ3職種が全て配属されていることが特徴の一つとなっています。それぞれの職種が専門性を発揮しながら連携を図り、利用者様の生活目標を達成することをサポートしています。特に訪問リハに従事する言語聴覚士は相模原においても非常に少ない状態であり、地域のニーズに応えるべく励んでおります。また、未就学児～ご高齢の方まで幅広い年齢・疾患の方にサービスを提供しており、地域住民の方の生活を支える体制を整えております。



今後、病院を早期退院する方が増えることが予想され、リハビリにおいても在宅でのサービス提供がより重要になっていくと考えられています。「退院後の生活が不安。」「自宅生活で大変なことが増えてきた。」等のお困りのことがございましたら、当院訪問リハ事業所までご連絡いただければと思います。



交通案内

アクセスマップ



■電車でお越しの場合

JR 相模線「南橋本駅」下車 西口より 徒歩 15 分

■バスでお越しの場合

○「橋本駅」から来院される場合

神奈川中央交通バス【橋本駅 南口1番乗り場 橋58】

- ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
- ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分

○「相模原駅」から来院される場合

神奈川中央交通バス【相模原駅 南口8番乗り場 相36】

- ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
- ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分

病院理念

愛し愛される病院

基本方針

地域の幸福な生活を応援すべく、
「自立と予防」を二本柱に掲げ、
医療・福祉の充実を目指す

病院概要

許可病床数

130床(回復期:106床、療養:24床)

診療科目

内科、神経内科、整形外科、脳神経外科、
リハビリテーション科

診療受付時間

平日 8:30~12:00

※診療科によって受付時間が異なるため、ホームページをご確認頂くか、お問い合わせください。

付帯施設

- ・通所介護事業所 ユースフルデイ りあくと
- ・訪問リハビリテーション
- ・居宅介護支援事業所 タイム
- ・訪問看護ステーション ルピナス
- ・訪問介護事業所 菜のはな
- ・サービス付き高齢者向け住宅 ユノトレメゾンさがみ

リハビリ体制

脳血管リハビリテーションⅠ、運動器リハビリテーションⅠ



医療法人社団 哺育会

さがみリハビリテーション病院

代表 ☎ 042-773-3211

〒252-0254

神奈川県相模原市中央区下九沢54-2

<https://sagami-rh.or.jp/>

